

みんなの力で 南光川をきれいに ～全世代型の町内会を目指して～



南光台第二町内会	会 長	よこはし 横橋 吉男さん (左奥)	副 会 長	よろず ちゅういちろう 萬 忠一郎さん (右奥)
	厚生部長	いわもと 岩本 富美さん (中)	会 計	さえき けいこ 佐伯 恵子さん (右)
	元総務部長	しぎはら 嶋原 光子さん (左)		

川の清掃を通して地域への愛着を育みたい

泉区にある南光台第二町内会は、令和6年2月時点で710世帯が所属している町内会です。この地域には「南光川」という川が流れており、昭和52年には付近の11町内会で「南光川を愛する会」を発足させました。この団体の活動として、南光台第二町内会では年に2回、川の清掃を実施しており、年間で70名から100名程度が参加しています。具体的には、はしごを使って川に入り、ごみ拾いを行ったり、川底の土砂や汚泥等を取り除いたりしています。この取組を通して、中学生や高校生などを含む幅広い世代の参加者が、地元への愛着を持ってもらうことに繋げたいと考えています。皆さんが気持ちよく活動に参加していただくため、役員や参加者の負担軽減に努めてきました。



仙台市河川愛護会設立50周年記念誌より

様々なアイデアで多くの方を巻き込みたい

まず、若い世代を巻き込む方法について役員会にて話し合いましたが、各家庭へのご案内に「中学生・ご家族様での参加を歓迎します」と文章を入れたことが効果的でした。これにより、小学生から大学生までの参加が多く見受けられるようになりました。参加者には常連の方

もいますが、特に若い世代は毎回異なる方が参加することが多いです。「若い世代も参加を歓迎します」と周知することで、今までは活動に参加していなかった若い世代が、「自分も参加していいんだ！」と感じ、活動に参加してくれるようになりました。

次に、実施時間の変更・短縮を行いました。従来は日曜日の午前9時から11時までを実施時間としていましたが、令和2年度からは、午前7時から8時30分までとしました。これにより、休日の午前中を有意義に使えるようになったという声もいただいています。

さらに、河川清掃終了後に昼食用の弁当を参加者に配布していましたが、当日の参加人数が事前に分からないこともあり、弁当を多めに準備していましたが、回覧板で参加者の募集を行っていましたが、全員が確認するまでに時間がかかり、場合によっては清掃当日に回覧板を見た方が参加することもあるなど、とにかく参加者数が読めませんでした。また、天候の影響で急遽中止となることもあり、弁当が余るたびに参加者で分配していましたが、弁当を手配すること自体を取りやめ、代わりに「ギフトカード」を配布するようにしました。この変更により、役員による弁当手配・運搬等の手間が無くなっただけでなく、参加者が持ち帰る手荷物も少なくなりました。ちなみに、余ったギフトカードは次回の清掃時に持ち越すことができるため、複数のメリットがある改善だと言えます。

みんなで力を合わせきれいな川を守りたい

このように、役員会で意見交換を行い様々な工夫を取り入れてきた活動ですが、皆様のご協力のおかげで、多くの方々に参加いただいています。これからも様々な改善や負担軽減を図りながら、南光川をきれいに保てるよう活動を続けていきたいですね。